

凡 例

1. この年鑑は、東京都の経済、社会および文化の全分野にわたり、重要でかつ基礎的な統計資料を総合的に集録したものである。なお、統計表には他の地域と区別する必要のないかぎり、東京都という名称を省いてある。
2. この年鑑は、昭和30年（または昭和30年度）を主として集録し、他の年（または他の年度）のものは、比較対照のため掲げてある。
3. 統計表は、特に頭注等にとわりのないかぎり、暦年間（1月から12月まで）、何年度とあるのは会計年度間（4月から翌年3月まで）の事実を示し、何年末、何月末あるいは何年何月何日とあるのは、その期日現在の事実を示す。
4. 統計表の一般的説明は頭注とし、表中説明を要する個々の事項は原則として脚注にした。また資料出所は脚注の一部として掲げてある。
5. 統計表中の符号の用法は、次のとおりである。

「—」……………皆無、または該当数字なし。

「…」……………資料なし。

「0」……………0.5未滿

なお、「0.0」のような場合は、上に準じて0.05未滿を示す。
6. 附録として、度量衡換算表を掲載し、計算その他の利用に便ならしめてある。

また、東京都の地図を附して地域範囲を明らかにし、統計表の理解上、いささかなりとも資するよう努めた。